

この度「みどり・山梨」の代表が交代しました。前任者と新任者のご挨拶をお届けします。

ご挨拶

前代表 川村 晃生

二〇〇五年に「みどり・山梨」を立ち上げて以来、長い間代表の役職をつとめさせていただきましたが、この度、野沢 今朝幸さんに代っていただくことになりました。そろそろ新しい世代の方に代っていただき、若返った方が組織のためによりという判断から、皆さまにお願いしての交代です。

代表在任中、日常的な市民活動のほかに、山梨県知事選挙や複数の議会選挙に挑みましたが、残念ながら思いを遂げなかったケースもありました。思えば微力を省みず、大胆な挑戦をしたとも言えますが、そうした試練は、私たちの血肉にもなったと思っています。

これまで長い間支えていただき、ほんとうにありがとうございました。今後、新代表のもとで、「みどり・山梨」が一層の飛躍をされますよう願っております。

二〇〇六年二月一日

代表就任のご挨拶

新代表 野沢 今朝幸

この度、「みどり・山梨」のメンバーによる互選によって、代表に選ばれました野沢 今朝幸です。

副代表には窪田 誠さん(再任)と城 伸一さんに就いて頂き、会計は霜田 輝子さんをお願いすることになりました。ネットでのやり取りは森本 優さんと楠原 美鶴さんにご協力頂き、これからはこのような体制で、「みどり・山梨」の活動を担っていきますので、会員の皆様のご理解とご協力よろしく願います。

これまで代表をして頂きました川村さんには心から感謝を申し上げます。これまでずっと「環境市民運動」をリードして頂き、理念・理論、実践・実務いずれにおいても、本当に卓越した能力を発揮されるなか、「みどり・山梨」の現在を築いて頂きました。今後も顧問として、コミットメントしてもらえるとこのことなので心強い限りです。

今後の活動の方向ですが、「環境」を旗印にしている「みどり・山梨」としては、やはり、文字どおり「身近」で重大な問題である「浜岡原発」と「リニア新幹線」を運動の中心に据えていくべきだと考えています。

「リニア新幹線工事の中止」に向けた運動は、すでに訴訟というかたちをとる中で、活発に展開されていますが、「浜岡原発の廃炉」に向けた運動は、リニアに力を削がれるということもあって、停滞ぎみであります。

政府と電力会社と原発専門家の三位一体で、新たな原発安全神話を創作する中、すでにいくつかの原発の再稼働が決定されています。「浜岡原発の廃炉」への運動は、これからの「みどり・山梨」の活動の試金石となるかと思っています。

安倍首相は歴代首相でもっとも“ 姑息な首相”です。数の力がその「姑息」をますます助長しています。国民主権・基本的な主権・平和主義それに立憲主義が蔑ろにされぬよう、「みどり・山梨」の活動を、会員の皆さまのご協力を得るなかで、ますます活発にしていこうと思います。よろしく願います。

二〇〇六年二月六日